

平成30年7月19日定例教授会議事抄録

出席者

榊屋所長

池本、板倉、大木、小寺、佐藤、菅、園田、高橋、長澤、中島、名和、平勢、松田、
真鍋、安富の各教授

池亀、上原、藏本、鍾、塚本、古井、森本、米野の各准教授

海外渡航者

青山、黒田の各教授、秋葉、額定其労の各准教授

議事

7月5日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 なし
2. 各種研究助成等の募集について 資料P6のとおり5件

報告事項

3. 所長報告

榊屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 未来社会協創推進本部（7月17日）

資料P7～28に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

2) 科所長会議（7月17日）

① 平成31年度標準授業日程

平成31年度標準授業日程が決定されたこと、新天皇即位関連行事による対応案も併せて策定されているとの報告があった。

② 山上会館改修後のリニューアルオープン（140周年記念事業）

資料P31～37に基づき、山上会館改修後のリニューアルオープン（140周年記念事業）について報告があった。

③ 研究倫理ウィーク

資料P38に基づき、研究倫理ウィークについて報告があった。

④ 全学的な情報セキュリティ教育の実施

資料P39～40に基づき、本学の情報システムを利用する全構成員を対象とする情報セキュリティ教育のe-ラーニングが7月30日から始まるとの説明があり、期限は9月30日（日）であるが、早めに受講いただきたいとの要請があった。

⑤ 東京大学医科学研究所附属病院渡航外来について

資料P41～42に基づき、医科学研究所附属病院が渡航外来を開設したので、ご活用いただきたいとの紹介があった。

3) 予算委員会（7月17日）

資料P43に基づき、同会議での議事概要について報告があった。

4) 教員の海外渡航について（報告）

資料P44～47に基づき、一部記述修正し、16件を承認した旨報告があった。

5) 委員等・非常勤講師の応嘱について

特になし

6) その他

① 高校生の研究所訪問が同日に複数件重なり事務が混乱した旨の報告があり、訪問の依頼を承諾した教員は、早めに必ず研究支援担当へ情報を入れ、研究所として受け入れていただきたいこと、また、訪問者へのアンケートの記入依頼にもご協力いただきたいとの要請があった。

② 企画希望者を募っていた国立大学附置研究所・センター長会議第3部会の平成31年度のシンポジウムについて、板倉教授に「中国絵画」関係をテーマとしてお願いしたとの報告があった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会

安富委員長より、資料P48～49に基づき、網戸の点検結果を受けた改修計画について報告があった。また、数年後の外壁検査等と時期を合わせるなど、工事費用節約や工事期間中に使用不能となるスペースの短期化などの対策を検討することも考慮し、改めて審議やご協力をお願いするかもしれない旨の発言があった。

2) 財務委員会

松田委員長より、資料P50に基づき、預託金執行計画案を作成したとの報告があった。また、窓枠関係についての積立はしていること、個人預託希望者は期日までに連絡をいただきたいとの補足説明があった。

3) 情報・広報委員会

高橋委員長より、8月1日と2日に開催される高校生のためのオープンキャンパスへ、東文研からは米野准教授の企画を実施するとの説明があり、協力願いたいとの依頼があった。

4) 研究企画委員会

藏本委員より、本日14時から開催されるスタンチアーニ特任教授の定例研究会について、案内があった。

5) 図書委員会

上原委員より、アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（U-PARL）の活動状況について報告があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、センターの将来構想について検討を始めたとの報告があった。

7) GJS委員会

園田委員長より、7月30日から行われる平成30年度サマープログラムについて、最終日の8月10日に行われる学生発表会に出席いただきたいとの依頼があった。

8) 情報セキュリティ委員会

柁屋委員長より、

- ① サーバの入れ替えを行ったとの報告があった。
- ② 東文研ホームページのSSL化を進めていくとの報告があった。
- ③ フィッシング等の被害に遭った際は、ネットワークを切断して、パソコンの電源は入れたままにして情報を保持するようとの指導があったので、万が一の際には対応願いたいとの説明があった。
- ④ 夏季は怪しいメールが増えることが多いが、怪しいと思うものは絶対に開封しないよう徹底願いたいとの要請があった。

9) 環境安全管理室

名和室長より、

- ① ストレスチェックの受検期間が始まっているとの説明があり、期限は7月31日(火)であるが、早めに受検するようとの要請があった。
- ② 全学で3Dプリンターの事故報告が増えているとの報告があり、使用する際には安全に配慮いただきたいとの依頼があった。

10) その他

- ① 塚本レクリエーション委員長より、本日夕刻より暑気払いを開催するとの案内があった。

5. その他

額定其労准教授の代理として名和教授より、戦略的パートナーシップのワークショップを9月22日(土)～23日(日)に東文研を会場として実施予定との案内があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、一部記述修正し、資料P51～52のとおり3件が承認された。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、一部記述修正し、資料P53～54のとおり4件の受け入れが承認された。

8. 学内委員の委嘱について

柁屋所長より、資料P55に基づき説明があり、承認された。

9. 東洋文化研究所貴重図書の指定、保存及び利用に関する規程の改正について

大木図書委員長より、資料P56～57に基づき、貴重書庫へ納める資料の判断に関する規程がないことから、申請いただき委員会の議を経ることを定めたいとの提案があり承認された。

10. 教員の採用延期について

柁屋所長より、クロス・アポイントメントにて平成30年9月に准教授としての採用することを審議した橋本悟氏について、現職先の事情により9月に着任できないとの説明の後、採用予定日を平成31年1月に延期することについて提案があり、了承された。

11. 教員人事について

梶屋所長より、

① 教員が獲得した学内公募の助成金により特任教授を採用することについて提案があった。続けて、当該教員より助成金申請時に雇用予定者を特定して採択されたものであることや採用された特任教員は助成元の兼務教員となることが求められていることなど補足説明があり、梶屋所長より特任教員の選考について、内規第31条第2項に基づき、本日審議を行い、同日に投票を行うとの発議があった。また、候補者の決定にあたり、出席者が定足数となる教授会構成員総数の3分の2以上に達しているため、本教授会で選考が成立する旨宣言があり、回収資料に基づき、特任教授候補者について、経歴、選考過程、選考理由等の説明があり、その後、投票を行った結果、可決された。

② 平成31年度採用可能数再配分により採用が認められた任期5年の国際学术交流室構築推進担当・准教授（英文エディター）にかかる人事を行いたい旨提案があり、了承された。

12. その他

特になし

以上